阪神淡路大震災1.17追悼防災啓発事業

企画経営部 秘書課 都市安全部 総合防災課

【事業内容】

阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼するとともに、震災で得た教訓を風化させず、震災を経験していない若い世代にも継承するため、追悼防災啓発事業を実施します。

	全体	秘書課	総合防災課
当初予算額	1, 350, 000 円	150,000 円	1,200,000 円

秘書課 150,000 円

◎阪神・淡路大震災犠牲者慰霊 献花・記帳所設置

事業概要:阪神・淡路大震災犠牲者の御霊のやすらぎをお祈りするとともに、将来に震災の 教訓を伝え、安全で災害に強いまちづくりへの取り組みを誓うため、1月17日 に献花および記帳所を設置する。

実施内容:記帳所 5:30~6:00 市民ホール(慰霊行事「1.17 祈りのともしび」)

記帳所 9:00~15:00 市役所1階銀行ATM前

献花・記帳所 9:00~15:00 ゆずり葉緑地

総合防災課 1,200,000 円

◎1. 17祈りのともしび

事業概要:犠牲となられた宝塚市民 118 名を悼み、同数のキャンドルを灯して、震災発生時刻の午前 5 時 46 分に黙祷を捧げる。

実施内容: 黙祷、震災当時の写真などのパネル展示、災害時に重要な役割を持つコミュニティ放送局である FM 宝塚により、会場に参加できない人のために、特別番組の放送などを行う。

◎防災ラジオ de ウォーク

事業概要:被災箇所、避難所、歴史スポットなどをチェックポイントにしてスタンプラリー 形式で歩き、体を動かしてラジオを聴きながら防災を学ぶ。ラジオ放送は災害時 に重要な役割を持つコミュニティ放送局である FM 宝塚が行い、防災ラジオの普 及や、ラジオ放送に慣れ親しんでいただき、災害時のラジオ活用についても啓発 する。

実施内容:市内の被災箇所や避難所などを巡り、防災・減災に関するテーマに話しながら歩く。その内容をラジオで生放送し、参加者はラジオを聴きながら楽しみつつ防災・減災について学んでいただく。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加でき、県外からも多くの申込がある。2015年度より実施しており毎年コースを変えている。2017年度より東日本大震災の発生日である3月11日前後に実施し、阪神・淡路大震災と併せて両震災を忘れないための企画としている。

(令和元年度申込者数:777名)